

令和六年一月十四日 令和六年能登半島地震に当たって

神 示

今日 時代の運命が大きく動いている

世界が「真理」に気付き 社会が調和に向かうように――

この間 環境が大きく変わり

変化にのまれ 悩み 迷う人々も多い

信者に申す

家族で「教え」を学び

「真理」で関わる家庭を築く 努力を欠いてはいけない

この努力が

変化を受け止め 流れに乗って「生きる」心を引き出す

人間が「生きる」 真実の仕合せは

「運命」に重なる真実で体験できる

生命ある日々にちに感謝し 奉仕に「生きる」人生に

仕合せの輪が広がる

仕合せは 自然の変化を受け止め

変化に気付ける人々の心に生まれる

こたびの被災に

人々の心がのまれ 「生きる」心が消えぬよう

神魂は 人々の心を包み 「希望の光」を開いている

信者は 「教え」を人生の支えに

先を考え 不安に迷う思いを

朝夕 朝夕 祈願を重ね 「真理」に生きる時

自然と迷う心は消え去って 「生きる」希望が見えてくる